

# 文教月報 第500号

題字 文教祝第500号 揮毫 松山市教育会OB 田鍋 修 解説は3面



発行所  
(公財)愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝谷町1丁目5-33  
エヌポワール愛媛文教会館内  
電話 (089)945-8644  
FAX (089)945-1459  
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

創刊500号 記念号  
題字 第8代理事長 田鍋 修  
(3面 題字に寄せて)  
巻頭言 第7代理事長 中野道春  
(4)(5)旅・たび  
(6)(7)日連教桐生大会印象記

## 助け合いの輪を広げる



愛媛県教育会第7代理事長  
元(公財)日本教育公務員弘済会  
愛媛支部長  
中野道春

文教月報が500号になるのでその巻頭言をとお話をいただいた。第1号は昭和41年4月20日に刊行されている。愛媛県教育会の設立が同年の3月10日であるので、文教月報は教育会の歴史とともに号を重ねたこととなる。

教育会の歴史を振り返ってみると、昭和46年に財団法人となり、47年には、文教会館が落成、平成18年に文教会館のリニューアル、25年には公益財団法人格を得るなど、組織としての節目を経ながら常に愛媛の子どもたちのため、先生方のため、正常な教育の推進に果たしてきた役割は誠に多大なものがあつた。私が理事長を務めさせていただいた時代にも文教会館の

改築や公益法人への移行などの課題にどのように対応すべきか、役職員の皆様方とともにさまざまに苦労したことを懐かしく思い出す。困難な課題に直面したとき、常によりどころとしてきた規程がある。それは「温故知新」つまり、先人の教えに習い、その労苦をしるぶこと。そして、15,000に余る会員の、さらにその背景にある児童生徒や保護者の皆様の願いにかなうことであつた。その規程さえ踏み外さなければ誰かが、またはみんなが歩むべき道を指し示してくれたような気がする。

現在、愛媛県教育会は公益財団法人として活動している。ご案内のとおり、公益財団

法人は法令によつて公益事業の推進に当たることが規定されており、財務上の厳しい規制をクリアしながら運営されている。私は、教育会退職後、日本教育公務員弘済会愛媛支部にも在籍させていた。日教弘も公益財団法人であり、まさに教育の充実発展のためにさまざまな事業に取り組んでいる団体である。具体的には奨学金給付や教育研究への助成等を行っている。このような公益事業を会費のみによつて支えることは難しい。教育会でいえば会館運営や出版事業、弘済会では共済事業など、互いが利益を得ながら支えあう仕組みが大切である。その互恵の精神が、愛媛の教育の振興発展や教職員の福利の一層の向上に寄与することと確信する。

会誌500号を重ねた愛媛教育の歴史の一端を担わせていただいた者からのお礼とお願いの言葉といたしたい。

- 一略 歴
- ・(なかの・みちはる)
  - ・平成6年 松山市立旭中学校長
  - ・平成8年 松山市立雄新中学校長
  - ・平成10年 愛媛県教育研究協議会 会長
  - ・平成11年 松山市立東中学校長
  - ・平成15年 同右定年退職
  - ・平成17年 愛媛県教育会 理事長
  - ・平成23年 (公財)日本教育公務員弘済会 愛媛支部長
  - ・平成27年 (株)愛媛教弘 代表取締役
  - ・平成30年 同右退任

## 響

何曲かのヒットソングをもつシンガーソングライターがそれらの曲を紹介するときに、「作つたのはわたしですが、ヒット曲にまで育ててくださったのは皆さんです」と言っている▼ヒットとは言い難いが、ロングランではあるうと思つている、この文教月報が500号を迎えた。「まとめたのはわたしでもですが、ここまで育ててくださったのは皆さんです」▼あまきみこさんの『きつねのおきやくさま』の最後に、餌として食べようと育てていた動物たちを狼から守り、自ら笑いながら死にゆく場面がある。このきつねは動物たちに「本来のきつね像、なりたくない自分」にしてもらつたのではないか。まったくの私見、「意見には個人差があります」ではあるが▼親は子に親にしてもらう。教師も子どもたちや保護者に教師にしてもらう。月報もまさにこれに然り▼先輩や後輩の「これまで」や「これから」への思いが言葉に託され、毎月ここに集まってくる。届けてくださる限り、軽く1,000号までいくのではないか。それはざつと46年後2064年のこと。育て合えそうな気がする。ここで改めて、501号からもよろしくお願ひいたします。

ひとこと

「お陰様」の心



生活合連長 森 昇  
愛媛県組合事務局長 森 昇

明治43年生まれの今は亡き祖母がいつも言っていた言葉「お陰様で長生きさせてもらっています。」わたしは、幼い頃この言葉の意味がよく分かりませんでした。でも人生を振り返りかたなりたつた今、やっと分かるようになってきました。

「お陰様で毎日元気に過ごせています。」「お陰様でなんとかやっております。」という言葉は、わたしの周りでは当たり前のように、誰もが使っていた言葉でした。幼い頃のわたしは、何がお陰様なのか、何でお陰様なのか分からないまま聞いていました。祖母は、いつでもどこでも何事にも感謝でした。この感謝の気持ちで、この言葉「お陰様で……」を口にさせたのでしょうか。今、わたしたちの周り、全

てのことに目をやってみると「お陰様」と思えることばかりではないでしょうか。食べるものにして、自分の周りにあるものにして、誰かのお陰で食べられるし、誰かのお陰で今があるのです。今、幸せな生活を送ることができの、家族、友だち、地域の方々、そして自分に関わっているすべての方々のお陰です。わたしたちは、自分自身の力もさることながら、周囲の人々やすべてのものによって、成長することができのです。祖母は、先の戦争で兄弟を亡くし、嫁ぎ先では、夫の幼い弟の世話をしました。苦勞の絶えない人生だったと思いますが、我が娘にも愛情をいっぱい注いでくれ、ひ孫たちにも見守られながら九一歳でこの世を去りました。幸福な人生を送ることができ人の心に宿る心情が「お陰様」という心だと思えます。感謝の心です。歳を重ねるにつれ、日本人の古き良き精神を支えている言葉「お陰様」を大切に使用していきたいと思っています。お陰様で、「ひとこと」を無事に書き終えることができました。

(今治市立日高小学校長)

学校紹介

No.193

新居浜市立別子小・中学校

新しい出発

市街地を南進し、山根公園、マイントピア別子、東洋のマチュピチュ「東平」への入り口を通り過ぎて約30分、県道を進むと、左前方に別子小学校と別子中学校の校舎、体育館が大きく見えます。本校は標高約580メートルに位置するへき地3級の小規模校です。中学校は平成20年と平成25年の休校を経る中で学校存亡の危機に瀕していました



が、平成28年度に別子中学校の存続を強く望む地域の要望に応え、新居浜市が『別子中学校学び創生事業』を立ち上げ、現在は小学生4名、中学

生17名で学校生活を送っています。今年4月に「立志寮」が開寮し、市街地からの生徒15名が生活を始めました。できたばかりの心地よい木の香りがする建物の中で生徒は順調な寮生活をスタートさせました。立志寮は民間会社が管理していますが、地元の方が調理や清掃でお世話してくれています。部活終了と共に帰寮して食事、入浴後は午後8時まで談話室で親交を深めます。そのあとは、休憩をはさみながら3時間学習します。宿題に四苦八苦しなから時間の使い方を身につけていきます。

毎月1回「寮生会」を開き、生活の中での問題点を全員で協議し、より良い解決策を自分たちで見つける場に行きます。地元から通う2人の生徒と学び合い、励まし合いながら、切磋琢磨しています。小学校は、毎日「体力づくり」と「学力づくり」に取り組んでいます。季節や気候に応じて陸上の練習や水泳練習をしています。写真は、60メ



仙波 弘子作  
水画教室 仙波 弘子

(校長 上林 正佳)

題字に寄せて

第500号

会誌の充実は  
会を豊かに！



松山市教育会  
OB  
田鍋 修

愛媛県教育会が発行する愛媛文教月報は、平成30年11月号をもって第500号を数えることとなった。年11回の発行であるので、単純に計算して45年と5か月と半世紀近く及ぶこととなる。

その前身は明治20年6月に創設された愛媛県教育協会がその源流となっているが、同時期に同協会は内務省の許可を得て会誌の発行をしている。その100号を記念して、愛媛の教育の充実を称え明治28年の秋に子規から「松に菊古きはものものなつかしき」と祝いの句が贈られている。その後「会の成長は会誌にこれを映し、会誌の充実は会を豊かにする」という会誌に込められた先人の思いは、今の広報誌(文教月報)に受け継がれている。祝第500号！(愛媛県教育会第8代理事長)

ふるさとに生きる

No. 98

「お猿さん」作り  
生きがいと縁を感じて



河野千年世 先生

訪問者 木村 留里子

(西条教育会OB)

河野千年世先生は旧西条教育事務所管内で初めての女性校長として活躍なさり、後の私たち後輩女性管理職の先駆けとなられた方です。西条市立橋小学校長を退職後も、ひまわり幼稚園長、国際ソロプチミスト西条支部会長等、地域に貢献し続けてこられました。今年米寿を迎えられましたが、今も毎日散歩を欠かさず、その健脚ぶりは御近所でも有名です。そんな河野先生に人生100年時代をいかに生きがいをもって過ごすかお聞きしました。

毎日どんなことをして過ごされていますか？  
一人で欠かさないので、散歩、写経、日記です。荒天時の散歩以外、毎日継続しています。あとは月2回絵手紙教室に通っています。こちらは十数名の会員さんと一緒に講師の方が毎回選んでくれる素材をどう見てどう表現するか、とても創造的で良い刺激になっています。

「お猿さん」とは？  
一般に「くくり猿」と呼ばれますが、猿が手足をくくられて動けない姿を表しているそうです。猿は欲のままに動きます。これを人の欲望に例えて、欲望をコントロールしている姿を表しているとも言われます。西条では石鎚山に役行者(えんのぎょうじゃ)が修行に来た時に猿が道案内をしたことが由来と聞いています。

作った「お猿さん」はどうされているのですか？  
「縁起物」でとても日本のなので毎年西条市中学生海外派遣団の皆さんに土産としてニュージールランドに持って行ってもらっています。個人的にも遠方から訪ねてきた旧友、私の子どもや孫、最近生まれた曾孫のお守りとして家族にもプレゼントしています。

「お猿さん」が河野先生ご自身と人との「縁」を結んで

いるのですね。  
年を取ると「縁」の大切さを身にしみて感じます。これからもこの御縁を大切にしていきたいと思えます。

少子高齢化の社会にあつて、河野先生はご長男夫婦と孫、曾孫のなんと九人の大家族で毎日にぎやかに西条にお住まいです。これからも益々お元気で、地域に貢献されることを祈念しております。



「お猿さん」の製作にも携わっておられると聞きましたが？  
私が退職してから一番楽しみにしている長生きの秘訣です。私のとても大切な教員仲間が誘ってくれたので始めました。

足跡をつづる、私を記す、形に残す。  
あなみが主人公のドラマを未来に伝えます。

受賞作品  
多数制作

品質・デザイン力に自信あり

# 本づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします！  
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します！

- 規格・装丁のご提案
- 編集方針のご提案
- レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス
- 予算のお見積り
- その他、ご相談承ります。

ご注文・お問い合わせ 印刷営業部 ☎089-945-0112 FAX089-947-6073

SEKI セキ株式会社

089-945-0111  
089-947-1230  
http://www.seki.co.jp

特集  
旅  
たび

自然に親しむ



今治・越智教育会  
OB  
森 克彦

私は昭和40年、中予の山間地に赴任して以降8年間、山間地の学校を多く経験した。おかげで松山市に出るために、犬寄、上尾、三坂、黒森峠を日常的に利用させてもらった。

当時、どの峠も、でこぼこ、くねくね道で時間だけやたらとかかった。しかし、景観が素晴らしく、自然の美しさを満喫することができた。こうした事が影響したのか、私は自然に親しみながら車で旅をするのがスタイルとなった。昭和42年に軽ワゴン、50歳代にステップワゴンを手に入れたからは東北まで旅は広がった。

今から十数年前、最後に残った北海道1周へ家内と出

かけた。ちょうど台風が来ていたので、行きは日本海側、帰りは太平洋側を通ることにし、6月20日に出発した。それでも翌日の昼過ぎには函館に到着した。後は7月13日まで気ままな旅である。

夕張、富良野、大雪山へ。両所とも花の美しい所である。そして札幌、小樽、稚内を見て知床へ向かった。

北海道の雄大な自然には感動の連続であった。拡がる牧場やジャガイモの白い花畑。宗谷岬、地球岬等の険しく、広大な景色。しかし、知床半島では熊出没のため通行禁止、遊覧船も高波で出航せず残念な結果になった。

宿泊の半分は民宿などの安宿。残りはオートキャンプ場や道の駅などの駐車場。今ではこんな旅もできなくなったが、身近な自然に親しみながら人生を過ごしたい。



東京旅の楽しみ



山手区  
小論  
市教  
松山  
美藤 貴

「言の葉の庭」新海誠監督が書いた小説を読んだ。最近の自分の趣味はスマホで小説を読むこと。その後、この映画を観たとき、雨の降る日の自然の美しさに改めて気付いた。雨の日も悪くない。

旅の目的地の一つに物語の舞台、新宿御苑を加えた。最近「聖地巡礼」などと言われる、ミーハーな目的だが、

事前に主人公孝雄と雪野が通ったとされるルートを調べ、歩いてみる。あいにく雨ではなかったが、大都会の中に残る自然が興味深く、美しく癒される。東屋が見えてきた。物語に登場する、正にその場所に座ってみる。そして、「雷神の少し響みてさし曇り雨も降らぬか君を留めむ」という万葉集句を口ずさんでみた。映画の中に入ったような感覚を味わい、しみじみと感慨に浸る、自己満足の旅。

国立科学博物館。実物大の

シロナガスクジラ像が目印。東京に旅した際、時間があれば必ず立ち寄る。何時間でも過ごせるくらい、夢中になる。今年「昆虫」と題して昆虫に焦点を絞った特別展を開催していた。オフイシャルサポーターの俳優香川照之さんは「昆虫すこいぜ！」の番組の中で昆虫への愛を熱く語る。その姿に共感するところがあ。特別展では、世界中の昆虫標本「本物」が見られる。驚くほど美しく、奇妙で不思議な生態、生き物の更なる魅力にふれた旅。

お城巡り



東温市教育会  
OB  
高須賀恵美子

みようと話し合った。まず、1城目は今治城だ。今治城は何度も外からは見かけていたが、入って見学するのは初めてであった。なかなか立派な城で、海城というのもいい。その後、湯築城・松山城・大洲城・宇和島城と見て回った。5月に近畿・北陸地方の城を見て回り、1年で29城を見学できた。

私は、城というと今まで、天守閣のある近世の城郭建築を思い浮かべていた。やはり、国宝の現存天守のある五城はすばらしい。姫路城は城の中の城である。また、やはり現存12天守はすばらしい。松山城は大好きな城だ。備中松山城(岡山県)も良かった。古い建物が残っていること自体が奇跡的だ。

しかし、私が心惹かれるのは石垣である。お城巡りをする前から、丸亀城・津山城(岡山県)の石垣のすばらしさは

知っていた。今回お城巡りを  
するように、安土城(滋  
賀県)の石垣・石段、高取城  
(奈良県)、七尾城(石川県)、  
竹田城(兵庫県)、月山富田  
城(鳥根県)、鳥取城の石垣  
が心に残っている。山城で建  
物などは全く残ってなく、た  
だ石垣のみが残る……。「夏  
草や兵どもが夢の跡(芭蕉)」  
と感慨がわく。歴史に思いを  
はせる。

日本にはまだまだ私の知ら  
ないことが多く、このお城巡  
りにはいろいろな発見があ  
る。この発見がとても楽しい。

会いたい、食べたい



小市平頭 大洲教 和家 秀樹

「旅」というテーマで原稿  
を……ということですが、私  
は歴史に疎く、お寺にも仏像  
にもお城にも興味がないう  
です。私にとって「旅」の目的  
は、「会いたい人に会うため」  
という一点に尽きるかもしれ  
ません。

この5年間は、かつてロー  
プジャンプ小学生全国大会で

共に戦ったチームの監督さん  
と会うことが、何よりの旅の  
楽しみになっています。これ  
までに、東京、名古屋、奈良、  
大阪、福岡で会いました。愛  
媛にも、何度も来てください  
ました。長縄の全国大会がな  
くなっても、会いたいから会  
いに行く、話したいから話し  
に行く。かつて切磋琢磨し  
戦った者同士が、何年経って  
も、あの瞬間の緊張感という  
話題で語り合えるなんて、本  
当に幸せです。1本のロープ  
が繋げてくれた輪に感謝で  
す。

あつ、そういうえば、もう一  
つ「旅」の目的がありました、  
ありました。すてきな「麵」  
に出会うことです。これには  
当たり外れがありますが、そ  
れもまた楽し。昔はラーメン、  
今はうどん。名古屋のきしめ  
ん、福井の越前そばも忘れら  
れない感激の味でした。すて  
きな人に会ったついでに、ご  
当地のうまい「麵」を食べて  
帰るのが、私のささやかな旅  
の楽しみ方なのです。

「繩」も「麵」も細く長く。  
これからも、全国どこでも会  
いたい人に会いに行き、おい  
しい麵を食べ歩く脚と胃袋を  
維持できるようにしていきたい

感動の鉄道旅



小市平頭 愛南町教 幸田 健一

いと思います。与えられたテ  
ーマとかけ離れた内容になっ  
てしまい申し訳ありません。  
最後まで読んでいただきあり  
がとうございました。

今回の旅は、二つの目的が  
ある。それは、自校の児童の  
わんぱく相撲全国大会を生で  
見ることで、そしてカメラに収  
めることである。もう一つの  
目的は、自分の趣味である鉄  
道の旅である。

場所は、相撲道の聖地こと  
東京両国国技館である。大相  
撲の優勝力士の写真があるな  
どもド満点である。  
まず前年度優勝していた自  
校の児童が、雲竜型の横綱土  
俵入りをを行った。厳肅で立派  
な所作であった。

その後、取組があり1回戦、  
2回戦を無事に勝ち抜いた  
が、3回戦で敗れてしまった。  
彼の取組を見て、強い感動を  
覚えた。今回は、残念ながら  
負けはしたが、この教訓を次

に生かして頑張ってほしい。  
陰ながら応援したい。

東京へ行くのには、飛行機  
便を使う人が多いだろう。私  
は、自称振り鉄であり、寝台  
特急という4文字が捨て難い  
のだ。大学生の時に岡山で過  
ごした時代は、寝台特急全盛  
の時代であった。富士やはや  
ぶさ、また電車寝台特急明星  
などを岡山駅でコンパクトカ  
メラ片手に夜な夜なフィルム  
に残したものである。今のよ  
うに高性能な一眼レフは、  
持っておらずうまく撮れな  
かった。現在、唯一残ってい  
る寝台特急サンライズ瀬戸号  
のA寝台で帰路に着いた。  
シャワー室もあり、ホテルの  
1室で移動しているような、  
ゆったりとした時間を楽しむ  
ことができた。  
夢は、退職後にオーストラ  
リアのザ・ガンという大陸横  
断鉄道に乗ることである。今  
回の旅は、感動付きの楽しい  
ものとなった。

訂正

10月号において、1、3面の  
竹田敏行先生の所属を「附属教  
育会OB」としていましたが、「  
附属小学校非常勤講師」の誤  
りでした。お詫びして、訂正い  
たします。

ぶんきょうの  
忘年会・新年会

メニューもますます充実  
ご予約は、皆様の会館

エスポワール文教会館 ☎(089)945-8644  
fax(089) 932-0380

学ぶよろこびを  
いつでも どこでも だれにでも



未来を担う“人”を育てるという  
社会的使命



本 社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7481(営業総務本部)  
四国支社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-4-10 大阪東書ビル Tel:06-6397-1350  
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> / 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

第70回日本連合教育会  
研究大会 桐生大会 印象記



マスコットキャラクター  
キノピー

◇第2分科会 (社会)



小井川吉北市東  
教諭 藤原 拓郎

るための手掛かりにさせるなど、主体的に活動できるようにしていた。自分ごととして捉えるのが難しい歴史的分野でありながら、自分と社会的現象との関わりを考えることができていた。

第2分科会では、「主体的に課題を探究する力を育てる社会科学習」を研究協議題に、三つの提案発表、小グループでの協議が行われた。

富山県教育会からは、「社会的現象を自分ごととして捉えること、社会的な見方・考え方を働かせながら、社会の在り方や自己の生き方に迫る子供の育成」高学年社会科学の実践から」を研究主題に富山市立堀川小学校の取組が発表された。「自分ごととして捉える」ことができるように、個でしっかりと考える「ひとり学習」が大変参考になった。調べ学習等のガイドプリントを用意し、問題を解決す

桐生市教育会からは、二つの発表があった。桐生市立広沢小学校の発表は「協働しながら問題を解決する学習過程の工夫」場面に応じた交流活動を取り入れて」を研究主題に、協働学習を様々な場面に応じた交流活動として取り入れた実践であった。中でも、グループ作りを工夫して行っていた。意図的に、グループ内等質、グループ間異質で形成し、自力解決できるグループ、支援が必要なグループを明確にするということであった。教師の指導・支援が明確になることと、グループ内協働を活発にすることにつながっていた。グループピングの重要性を再確認できた。

桐生市教育会中学校社会科部会は、「主体的に課題を探究する力を育てる社会科学習の展開」を研究主題に、各中学校において各分野様々な実践をされていた。桐生市立新里中学校の公民的分野の実践

◇第3分科会 (算数・数学)



東中市長 浅幸  
宇和島市校長 山本

では、身近な動物園から入り、地方財政・地方自治に目を向けさせるようになっており、桐生市民としての意識を強く持たせていた。中学校社会科部会全体で研究を進めたすばらしい取組だった。

グループ協議においては、積極的な意見交換がなされ、社会科学教育に対する熱意を感じるのであった。提案発表、グループ協議ともに、とてもよい刺激となった。

第3分科会では、学び合う活動を通して、数学的な思考力・表現力を高める算数・数学科学習を協議題に、三つの提案発表と小グループでの協議が行われた。

愛媛県教育会からは、「学びのおもしろさや奥の深さを感じさせる教育の実践 第2学年 かけ算の学習を通して」と題して、今治市立波方小学校の取組が発表された。児童が興味ある学習問題に出合い、協働して課題を解決し、考えのよさや自他の頑張りを感じるような学

習を展開することで、児童の主体性や思考力・表現力を育成することをねらいに、全校体制での実践研究が報告された。

研究の実際として、①単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、「つかむ」「学び合う」「振り返る」という学習プロセスを積み上げ目標に迫る ②学び合う楽しさを味わわせる単元構成や課題を工夫する ③思考力・表現力を高める学び合いの工夫を行い、基礎・基本の定着、思考力・表現力の育成、学びに向かう態度の涵養を図る、といった素晴らしい実践であった。

次に、桐生市連合教育会からは、群馬県教育委員会が作成した「はばたく群馬の指導プラン」をもとに、桐生市授業改善推進プランを作成し、児童・生徒がより主体的に考え、伝え合う、学び合う活動について、小中学校の連携した報告があった。新里東小学校からは、「一人一人の学びを確かなものにする学び合い活動を取り入れた学習過程」について、単元で身に付ける資質・能力を明らかにするとともに、単元の学習過程に適した学び合う活動を選択し、一人一人の資質・能力が段階的に高められる取組が報告さ

◇第4分科会 (理科)



小松本町一南  
教諭 上田 城生

れた。加えて、中央中学校からは、思考力・表現力を高める学び合い学習の在り方について報告があった。

グループ協議では、波方小学校の思考スキルと話型の活用が中心話題となり、各地域の取組の情報交換が行われた。

第4分科会では「自然や人との関わりの中で主体的・協働的に学び、思考力・表現力を高める理科学習」を協議題に三つの提案発表と、小グループでの協議が行われました。



俳画・水墨画教室  
和田 桂子 作

初めに、山口県教育会から、「科学的に探究するための変数に着目した学習過程」実験を計画し、結果を分析する力の育成をめざして」と題して山口市立宮野中学校の取組が発表されました。科学的に探究する方法として「変数」に着目し、中学校第1学年で実践されていました。第1学年で身に付けたい見方・考え方を「身のまわりの現象から変数を見つけ出す力」「独立変数と従属変数の存在を知り、その関係性を言葉やグラフで表現する力」「条件を制御して実験を計画する力」と設定し、生徒が理解できるように単元構成等を工夫した取組でした。

次に、桐生市教育会（小学校理科部会）から「明確な問題や課題」意識をもち、主体的・協働的に学ぶ児童の育成（授業改善推進プランをもとにした授業実践を通して）」と題して取組が発表されました。単元の導入で、自然観察やものづくりなどの体験活動

を積極的に行い、その中で児童の気付きや疑問、思いや願い、矛盾を生かした「問題や課題」の設定を行うことで、思考力・表現力の向上を目指した取組でした。

最後に桐生市教育会（中学校理科部会）から「特色ある桐生市理科教育」サイエンスドクターの活用」と題して地域人材や専門家を活かした桐生市ならではの取組が発表されました。群馬大学大学院理工学府の大学院生を活用した「サイエンスドクター事業」は、生徒の理科に対する興味・関心や学習意欲が高まり、学力向上へとつながっているということでした。



新居 博子  
OB  
中津 博子

◇第12分科会  
(特別活動)

第12分科会では「自発的、自治的な活動を通してより良い人間関係を築く特別活動」を研究協議題として、3校の提案発表とグループ協議が行われた。

まずは、滋賀県教育会から「学校の課題に向き合う児童会大黒柱委員会の実践」をテーマとした大津市立仰木の里東小学校の取組が発表された。児童会に、「大黒柱委員会」と名付けた児童主体の委員会を組織し、全校アンケートによって学校内の課題を明らかにし、対応策を検討する。予算立てまで自分たちで考える。そして、その案を学校長と教頭にプレゼンし、最終計画を練り上げる。児童自らの手によって、学校を変えることができるともやりの活動だと感じた。

次に、桐生市教育会から「自発的、自治的な活動を通して、より良い人間関係を築く特別活動」をテーマとした桐生市立川内小学校の取組発表があった。自発的、自主的な「係活動」への取組を通して、児童一人一人を学校生活の主体的な参画者にすることを目指した実践であった。発表の中で、当番活動を学級になくしてはならない仕事を分担して取り組む活動として位置付け、一人一役を原則として学級全体で分担する。そして、「係活動」は学級を楽しくするための仕事を作り出して取り組む活動と位置付け、児童の主体性・自主性を重視するという視点が興味深く思えた。

今回の研修で、主体的・協働的な理科の学びを進めるためのヒントをいただき感謝しています。自校の取組に生かしていきたいと思えます。

祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- |        |     |               |      |
|--------|-----|---------------|------|
| 青井 正史様 | 88歳 | 元重信町立北吉井小学校校長 | 東温市  |
| 土居 明生様 | 88歳 | 元久万町立父二峰小学校校長 | 松山市  |
| 藤堂 清様  | 88歳 | 元津島町立下灘小学校校長  | 宇和島市 |

続いて、同じく桐生市教育会から、桐生市立相生中学校の学級での課題や学校行事との結びつきを意識した話し合い活動の活性化に向けての取組が発表された。学級の諸問題に積極的に関わる力が不足しているという生徒の実態から、ワークシートや相互評価シートを活用して、主体的かつ積極的な話し合い活動を目指した取組であった。自ら考える力を育てると同時に、より良い人間関係の構築を目指すことのできる実践であった。

発表後のグループ討議では、現職の先生方が、悩みながらも大変意欲的に教育活動に邁進している姿に触れることができ、とても嬉しく、頼もしく感じた。このような貴重な機会を頂いたことに心から感謝している。

いよてつ高島屋 ローズカードご入会のおすすめ

いよてつ Takashimaya

組合員様は商品<sup>※</sup>を5%引きで購入いただけます。売り場奉仕品、優待会、カタログ、通販販売の商品は2%引きのお支払です。

※1 (特別率仕品・生鮮食品等の割引対象商品を除く)

お問い合わせは  
愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話 (089) 925-0555  
または 郡市学校生活協同組合

お蔵書の期間中、「外商常規高橋承りコーナー」にて推奨品に限り推奨価格(10%引き)で購入できます。

「エネオス」・「コスモ石油」ガソリンカード

ENEOS ご入会のおすすめ COSMOPETROL

全国のサービスステーションでご利用頂ける「エネオス」と「コスモ石油」のガソリンカードご利用代金は引去で便利!

お問い合わせは  
愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話(089)925-0555  
または 郡市学校生活協同組合  
http://www.ehime-gakuseikyou.jp

毎月更新の給油価格は、愛媛県学校生活協HPにてご確認ください。

ふるさとスケッチ

No.416

愛宕山からの眺望



中愛宕市八幡濱市  
論教 吉川 絵理

春は朝日。鮮やかに輝く海や山、町並み。一日ひいては一年の始まりを清々しく彩る。夏は花火。山の高さまで打ち上がり、目の前で広がる芸術作品。圧巻この上ない。秋は夕焼け。日が沈むにつれ、刻々と表情を変える空。朱、橙、薄黄、桃、群青、見



事なグラデーシオン。冬は雪。全てを包み込む銀世界。日常と異なる不思議な世界。濃淡の美しさは一幅の水墨画のようだ。愛宕山正門前に広がる景色です。お越しの際は是非!!

ご冥福をお祈りします

加勢 治正様	98歳	松山市北井門三丁目六一九	30	7	17
石田 禎作様	93歳	吹田市上山田一七七七	30	7	22
永井 保雄様	82歳	松山市朝美二丁目六一七	30	8	27
西 忠信様	88歳	大洲市大洲八四一四	30	8	28
峯本 政幸様	91歳	伊予市中山町中山三三六六一	30	8	30
赤坂 哲夫様	91歳	西予市宇和町永長二七三	30	9	8
向井 春雄様	84歳	大洲市新谷乙五四二	30	9	11
横手 洋子様	70歳	西予市宇和町上松葉六六	30	9	12
清家 成雄様	85歳	西予市宇和町卯之町一四三三	30	9	12
村上 憲男様	80歳	今治市吉海町仁江三	30	9	16
篠塚 タツ様	100歳	西条市石田七五	30	9	17
阿部 隆徳様	45歳	今治市中寺三二八	30	20	20
田中 英雄様	85歳	八幡濱市栗野浦五七四四	30	20	20
山口 登様	85歳	松山市上野町三五四四	30	23	23
久保田 仁郎様	91歳	大洲市喜多山乙四〇一	30	24	26
三好 富士夫様	88歳	松山市来住町四三	30	24	26

ローカルトピックス

黒森峠



黒森峠 標高985m

東温市は、皿ヶ嶺連峰を境に久万高原町と接しており、昔は峠を通って盛んに行き来していました。東温市を経て松山平野からは、鮮魚や日用雑貨品が運ばれ、久万高原町からは木材・茶・木炭などが運ばれました。特に川上、河

之内から面河村へ続く黒森峠は、重要な街道でした。そこで、河之内出身の「近藤金四郎」が、生活を豊かにするには道路が大切だと説き、村民の協力のもと、県道黒森線の拡張工事を始めました。資金が乏しくなると私財を投げうち資金に充てました。その功績をたたえ河之内金比羅寺には胸像が建てられています。黒森線が開通したお陰で、今まで人や馬しか通ることができなかつた道に、自動車が行き、物資の輸送路として大変便利になりました。

しかし、国道33号線の整備が進むと、より便利で快適な道が選ばれました。今では往時をしのぶことはできませんが、先人の熱い思いが残る道を進むと、峠道の果たした役割に、感慨深い気持ちになります。 文教科編集協力委員 古川 勝聡 東温市教育会

文教俳句

一俳句ポストより一

寺の庭靜かに一輪著我の花	西条市	高橋	和
講習日雨上りの空ツバメ舞ふ	松山市	池田小百合	
曇天をえいと持ち上げ花菖蒲	西条市	大川 昌代	
梅雨空の晴れ間をぬって菖蒲さく	松山市	金丸 邦広	
父さんと湯船にちやばん春おしむ	愛南町	中道 壮太	
野球拳法被も踊るよよいのよい	松山市	井上 弘子	

◆図書室から

文教会館では蔵書(教育関係図書、児童生徒用図書、教育関係資料、句集等)の貸出及び閲覧ができます。これまでに寄贈していただいた図書もここに置かせていただいています。いつでもご自由にお立ち寄りいただき、手に取られてみてください。秋の日のひとときをここで過ごしたいなら是非いかがでしょうか。

◆寄贈図書



この度左記の図書をご寄贈いただきました。 『語り継ぎたいふるさと松山 百話 広がれ! ふるさと松山の心』

ここにも出て離れていても心はここにありここに置きたい先人も子どもも大人もみんな学び合いたい育ち 育て合いたい (寄贈者) 松山市教育委員会 ※松山の観光ガイドブックとしてもご利用いただけます。 マップ付きです。ご希望の方は「松山市教育研修センター」のホームページをご覧ください。 本号から、一般的な数字の表記は、アラビア数字で記述することといたしました。